

# 工 事 仕 様 書

1. 承認条件に従い、本仕様書に基づき添付図面のとおり施工します。
2. 公私境界ブロックの位置及び高さは変更しません。
3. 本仕様書にない事項は、東京都土木工事標準仕様書に従い施工します。
4. 舗装工は下記の赤枠で囲んだ構造及び仕様のとおり施工します。

構 造	コンクリート舗装	アスファルト舗装
工 事 仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 雨天その他、施工が不適当な時は作業を行いません。</li> <li>(2) 添付図面のとおり所定の深さに掘削し、ランマー等で十分つき固めて平坦に仕上げます。</li> <li>(3) 路盤材は一層の仕上がり厚さが15cm以下となるよう均一に敷均し、振動ローラ等を用いて十分な支持力が得られるよう転圧します。</li> <li>(4) 路盤を仕上げた後、速やかにプライムコート在所定量均一に散布して養生します。</li> <li>(5) コンクリートは原則として生コンを使用します。</li> <li>(6) 境界石等コンクリートとの接触面は、散水し予め十分湿らせておきます。</li> <li>(7) コンクリートは分離しないよう迅速に敷き均し、速やかにバイブレーター等で一様かつ十分に締固めます。</li> <li>(8) 締固め終了後、直ちに荒仕上げをし、フロートで表面仕上げを行います。最後にほうきやハケ等で粗面にします。</li> <li>(9) 表面仕上げ後、直ちに養生します。</li> <li>(10) 指示された附属物等を再使用する時は丁寧に取外し、破損した場合は使用しません。</li> <li>(11) 工事完了後には、施工状況と構造図どおりの仕上がり状況が確認できる工事記録写真を提出します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 雨天その他、施工が不適当な時は作業を行いません。</li> <li>(2) 添付図面のとおり所定の深さに掘削し、ランマー等で十分つき固め平坦に仕上げます。</li> <li>(3) 路盤材は一層の仕上がり厚さが15cm以下となるよう均一に敷均し、振動ローラ等を用いて十分な支持力が得られるよう転圧します。</li> <li>(4) 路盤を仕上げた後、速やかにプライムコート在所定量均一に散布して養生します。</li> <li>(5) 境界石等アスファルト混合物との接触面には、歴青材を均等に塗布します。</li> <li>(6) アスファルト混合物の敷き均しは、熟練者により迅速に行い、均一な密度ならびに転圧後、所定の厚さ及び形状が得られるよう施工します。</li> <li>(7) アスファルト混合物の転圧は、一層の厚さが7cm以下を標準とし、適切な締固め度が得られるよう、振動ローラ等により十分転圧します。</li> <li>(8) 指示された附属物等を再使用する時は丁寧に取外し、破損した場合は使用しません。</li> <li>(9) 工事完了後には、施工状況と構造図どおりの仕上がり状況が確認できる工事記録写真を提出します。</li> </ul>